

# 巻 頭 言

広島大学大学院教育学研究科  
研究科長 小山正孝

『広島大学大学院教育学研究科紀要』第68号をお届けします。本年度は、第一部「学習開発関連領域」に13編、第二部「文化教育開発関連領域」に37編、第三部「教育人間科学関連領域」に18編、合計68編の論文を掲載しています。貴重な研究成果を投稿して下さった執筆者の皆様、多くの時間と手間をかけて丁寧で正確な編集作業に携わっていただいた研究・国際交流部会担当委員をはじめとする関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本紀要を手にとってくださいました皆様に厚く御礼申し上げます。各分冊の巻末には、他の部に掲載されている論文の著者と論文題目を記載しておりますので、ご参照ください。また、本紀要に掲載されている68編すべての論文は、広島大学図書館のウェブサイトからアクセスできる「広島大学学術情報リポジトリ」で公開されています。この電子書庫では、教育学研究科の教員や学生による他の論文等も読むことができます。本紀要とあわせてご覧ください。

さて、広島大学は研究大学強化促進事業（平成25年8月1日決定 RU 事業）やスーパーグローバル大学創成支援事業タイプ A（トップ型）（平成26年9月26日決定 SGU 事業）の一翼を担う大学として選定されており、その取組みの成果を世に問う責務を負っています。研究力を示す指標の一つとして、国際的に評価の高い学術誌に数多くの論文を投稿し発表することが求められており、教育に関連する領域も例外ではありません。このような状況の中で本紀要に論文を掲載することのメリットとして、専門的学術雑誌では評価が分かれるかもしれない萌芽的研究や革新的研究をいち早く公表できること、同じ組織で研究する者同士がそれぞれの研究内容を知り、相互に知的な刺激を受けることによって、研究の活性化を促すことなどが挙げられます。とりわけ、本紀要を刊行する一番の意義は、多様かつ広範な領域の研究成果を集約することで、本教育学研究科としての成果を広く目に見える形にすることにあると考えます。

広島大学は令和2年4月に、総合科学研究科、文学研究科、教育学研究科、社会科学研究科、国際協力研究科、法務研究科の6研究科16専攻（一部を含む）を再編し、4専攻14学位プログラムで構成される大学院「人間社会科学研究科」を新設します。本新研究科では、人間と社会のための諸科学の追求と、教育による持続可能で平和な世界の構築を目指すという二つのミッションを有し、人間や社会に関する深い見識と専門分野以外への強い関心を持ち、自然科学や生命科学を含む他分野の専門家と協働して将来の人類社会を創造する人材を育成します。そのため、広島大学大学院「教育学研究科」という名称は無くなりますが、今後も教育学研究の進展に寄与してまいりますので、忌憚のないご意見やご批正をお寄せいただければ幸いです。